

土浦市優先施策の進捗状況を報告します

夢のある、元気のある土浦の実現に向け、市ではさまざまな取り組みを進めています。そのなかで、まちづくりにおいて特に重要と考えられる施策について令和2年度の進捗状況を報告します。各取り組みの詳細を、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

☎政策企画課(☎内線2425)



暮らしの質を高め、地域を元気にするまちづくり

ソフト面およびハード面の両面から市民の暮らしの質を向上させるとともに、交通利便性を確保することで、市民満足度を高めます。また、企業立地の促進による産業振興や雇用機会の拡大により、地域の活性化を図ります。

取り組み・【実施状況】	進捗状況
暮らしの質の向上	
ごみ袋の有料化制度について、手法や価格設定の見直しを進めています。 【令和3年10月1日からごみ袋の値下げを決定】	◎
土浦港に隣接する川口二丁目の市有地への民間活力の導入を進めています。 【整備の可能性について市場調査を実施】	○
神立駅周辺地区において、都市施設の一体的な整備を進めています。 【西口駅前広場などを整備中 ⇒ 令和4年度に事業完了予定】	○
新治運動公園多目的グラウンドの人工芝化を進めています。 【整備方法を市の直接施工に決定 ⇒ 令和5年度供用開始予定】	○
企業立地の促進	
土浦北、桜土浦の各インターチェンジ周辺地区について、民間事業所などの立地促進に向け、適切な土地利用の誘導を行っていきます。 【産業用地創出可能候補地の検討を実施】	○
IT関連企業などの市内進出を促進していきます。 【令和3年度からオフィスのIT環境整備などに係る経費の助成を開始】	◇
スマートインターチェンジの設置に向けた検討を進めています。 【設置の必要性や設置候補箇所の検討、国・県との協議を実施】	○
交通利便性の確保	
コミュニティ交通の導入拡大に向けた検討を進めています。【バス路線の運行方策の検討調査を実施 ⇒ 令和3年10月からコミュニティバスの試験運行を開始予定】	○
主要幹線道路などの整備を進めています。 【常名虫掛線・市道認定区間の供用を開始、荒川沖木田余線・4車線化に向け道路改良工事などを実施、市道虫掛66号線・用地取得に向けた測量を実施】	○

◎：実施済みのもの
○：着手済みのもの
◇：令和3年度に新規で行うもの



災害に強いまちづくり

近年の激甚化する自然災害などに対応するため、行政のサポートによる地域力の強化を推進するとともに、必要不可欠なインフラ整備を行うことで、市民の皆さんの命と暮らし、そして財産を守り抜きます。

取り組み・【実施状況】	進捗状況
防災・減災対策の充実	
積極的な防災・減災対策を実施しています。【新型コロナウイルス感染症対策として、避難所のプライバシー TENT・エアマットなどを購入、地区公民館をはじめ避難所施設について和式トイレの洋式化など環境整備に着手】	○
防災インフラの整備	
急傾斜地崩壊危険区域の指定および急傾斜地崩壊対策工事を実施しています。 【東真鍋町12地区(木田余地区)の崩壊対策工事が完了、東真鍋町7地区(東真鍋地区)の崩壊対策工事に着手】	○
橋梁の耐震性の向上を図るとともに、計画的かつ予防的な修繕を行っています。 【耐震化予定の橋梁34橋のうち20橋の落橋防止の施工、橋梁長寿命化修繕計画に基づき20橋の修繕工事を施工】	○



未来を担う子どもたちを安心して育てることができるまちづくり

少子高齢化の進行をはじめ、社会経済情勢の変化により多様化・高度化する保育ニーズに合わせた子育て支援の充実を図ります。あわせて、子どもたちにとってより良い教育環境を整備し、親子が安心して暮らせるまちを実現します。

取り組み・【実施状況】	進捗状況	
保育サービスの充実		
実績豊富な公立保育所の維持について検討を進めています。 【「東崎保育所(今後「市立認定こども園土浦幼稚園」に集約)」、「神立保育所」、「天川保育所」および「荒川沖保育所」の存続を決定】	◎	 現在の土浦幼稚園
幼保連携型の「市立認定こども園土浦幼稚園」を整備していきます。 【令和3年度から認定こども園の整備に着手】	◇	
子育て世帯が地域や家族とつながり、楽しく子育てができる環境を整備していきます。【令和3年度に子育て情報スマホアプリを導入、本庁舎1階のキッズスペースのリニューアルを実施】	◇	
仕事と子育ての両立に向け、病後児保育事業に加え、病児保育事業を支援しています。【令和2年4月1日から病児保育対応医療機関への支援を開始】	◎	
経済的支援の充実		
教育・保育無償化の対象外である0歳児から2歳児までの保育料を軽減しています。 【令和2年4月1日から保育料の軽減を開始】	◎	 子育て支援
小児の医療福祉費支給制度の拡充を行っています。 【令和2年10月診療分から高校生の医療費について市独自の助成を開始】	◎	
教育環境の充実		
学校施設について、全校を対象に快適で使いやすい洋式トイレに改修していきます。 【新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの洋式化率が低い小中学校における洋式トイレへの改修に着手 ⇒ 今後も小中学校全校を対象に洋式トイレへの改修を順次進める】	○	
上大津地区における小学校の適正配置を推進しています。 【令和2年4月1日から上大津西小学校を菅谷小学校に暫定的に統合、「上大津地区小学校適正配置実施計画」を策定 ⇒ 令和9年4月までの統合小学校の開校を目指す】	○	

地域の宝を生かしたまちづくり

先人から受け継いできた夢とロマンあふれる歴史や文化、霞ヶ浦をはじめとする自然環境、日本一の生産量を誇るれんこんや花きといった農産物など、地域の宝を最大限に生かして本市の魅力を創造し、戦略的に発信することで、持続的な発展を目指します。

取り組み・【実施状況】	進捗状況	
地域の宝を核とした魅力の創造		
「つくば霞ヶ浦りんりんロード」をはじめとするサイクリング環境を活用したイベントの実施などを推進しています。 【自転車のまちづくり構想に基づいた取り組み(霞ヶ浦広域サイクルーズ、サイクルサポートステーション拡充など)を総合的かつ戦略的に展開】	○	 つくば霞ヶ浦りんりんロード
生産量日本一を誇るれんこんを核とした土浦ブランドセールスの全国展開に取り組んでいます。【土浦ブランドアッププロジェクト基本構想に基づいた取り組み(土浦の恵みマーケットの開催、各種メディアやシティプロモーションを活用したPR)を着実に推進】	○	
花火競技大会やかすみがうらマラソンの開催を通じて、市の魅力を全国にアピールするとともに、交流人口の拡大を図っています。 【花火競技大会、かすみがうらマラソン共に安心安全な大会運営に取り組む】	○	
地域の文化財をまちづくりの核として、その継承に取り組むとともに、歴史や文化を生かしたまちづくりを推進していきます。【令和3年度から文化財保存活用地域計画を策定、中央地区の地域特性を生かしたまちづくり施策の検討を実施】	◇	
地域の宝の戦略的な発信		
地域の宝を活用して創造したさまざまな魅力を戦略的に内外へ発信しています。 【各種シティプロモーション活動を施策分野横断的に推進、市公式ホームページを全面リニューアル ⇒ 令和3年度はSNSを活用したハッシュタグキャンペーンやテレワーク×サイクリングの移住体験ツアーなどを開催】	○	